



ニッセイ気候変動関連グローバル株式ファンド

(資産成長型)/(予想分配金提示型)

愛称：フォー・ザ・フューチャー

組入銘柄の状況等について

平素は格別のご高配をたまわり、厚く御礼申し上げます。

ニッセイ気候変動関連グローバル株式ファンド(資産成長型)/(予想分配金提示型)は、2021年4月26日に設定・運用を開始いたしました。

当ファンドは日本を含む世界の株式のなかから、気候変動に関連する事業を展開する企業の株式に投資する方針です。当レポートでは、当ファンドの主要投資対象ファンドの組入銘柄の詳細等についてご紹介いたします。

投資対象ファンドの組入上位10銘柄(2021年4月末時点)

以下色付きの4銘柄については、P3以降でご紹介します。

銘柄名	国・地域	業種	気候変動対策におけるテクノロジーの例	保有比率
ダーリン・イングレディエンツ	米国	生活必需品	再生可能エネルギー(バイオ燃料)	3.8%
マイクロソフト	米国	テクノロジー	クラウドコンピューティング	3.5%
VMウェア	米国	テクノロジー	データセンターの電力消費最適化	2.8%
シグニファイ	オランダ	資本財	農業用LED照明、紫外線ライト(ウイルスの殺菌)	2.8%
シュナイダー・エレクトリック	フランス	資本財	エネルギー効率管理システム、熱電供給	2.6%
ゾエティス	米国	ヘルスケア	動物用医薬品、農業の生産効率化	2.2%
アキュイティイー・ブランド	米国	資本財	IoT照明、ワイヤレス照明、スマート照明(及びソリューション)、紫外線ライト(ウイルスの殺菌)	2.2%
アクセル・グループ	オランダ	一般消費財	最先端のE-bike(電動自転車)、自動車に代わる移動手段の提供	2.2%
ネステ	フィンランド	エネルギー	再生可能エネルギー(バイオ燃料)	2.1%
ネクサンズ	フランス	資本財	再生可能エネルギー輸送用高機能ケーブル	2.1%

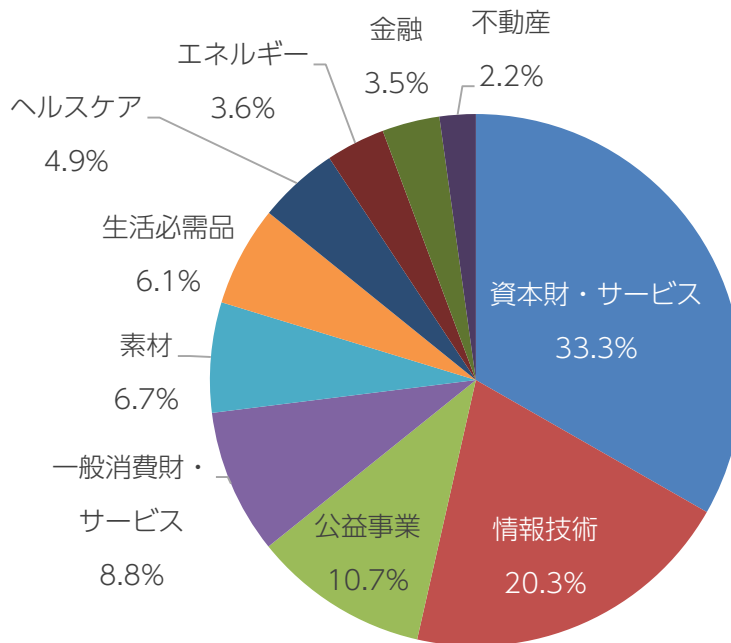
上記は、当ファンドが主に投資対象とする「DWS・インベスト・ESG・クライメート・テックFC(円建て)クラス」の状況を表示しており、DWSグループの資料(現地月末基準)に基づきニッセイアセットマネジメントが作成しています。比率は対組入株式等評価額比。業種はGICS分類(セクター)によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

投資対象ファンドのポートフォリオの概況(2021年4月末時点)

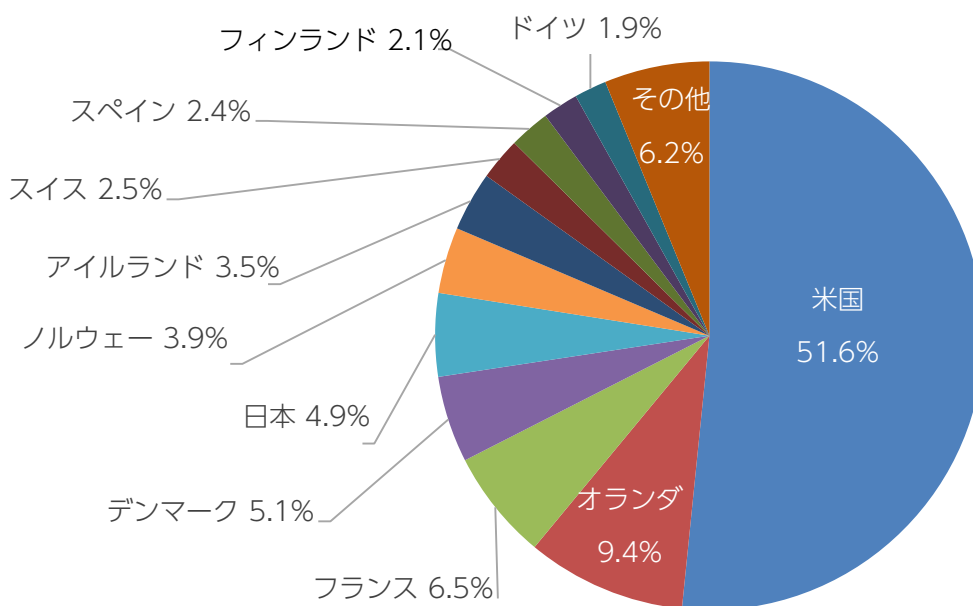
投資対象ファンドのポートフォリオは2021年4月末時点において、業種別組入比率では資本財・サービスの組入れが高く、情報技術、公益事業、一般消費財、素材など多くの業種に分散されたポートフォリオとなっています。

また、国・地域別組入比率では米国が約5割、気候変動対策に先進的である欧州を約4割組み入れています。

業種別組入比率



国・地域別組入比率



上記は当ファンドが主に投資対象とする「DWS・インベスト・ESG・クライメート・テックFC (円建て) クラス」の状況を表示しており、DWSグループの資料(現地月末基準)に基づきニッセイアセットマネジメントが作成しています。比率は対組入株式等評価額比。業種はGICS分類(セクター)によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

投資対象ファンドの組入銘柄のご紹介①

調理油、動物性脂肪から精製した製品や再生可能ディーゼルに強み ダーリン・イングレディエンツ(米国)

企業概要

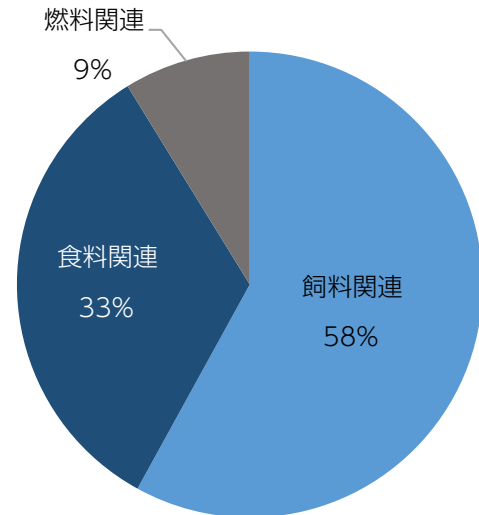
- レストランを対象に、油のろ過・回収サービスを提供。回収した油を加工処理し、動物性脂肪、飼料用油などの製品として世界で販売。
- 化石燃料代替として再生可能ディーゼルの分野にも注力。独自のネットワークから調達した調理油や動物性脂肪から精製。

同社の強みやテクノロジー

➤ 再生可能ディーゼル燃料

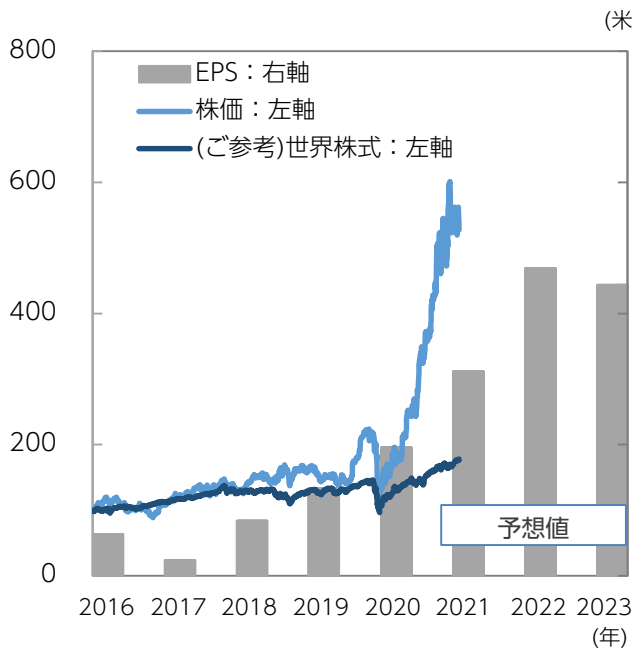
同社が出資しているダイヤモンドグリーンディーゼル社は再生可能燃料の生産者としては北米1位。カリフォルニア州など一部の州で温室効果ガスの排出規制が厳しくなり、再生可能燃料の需要増が期待される。

セグメント毎の売上高比率(2020年12月期)

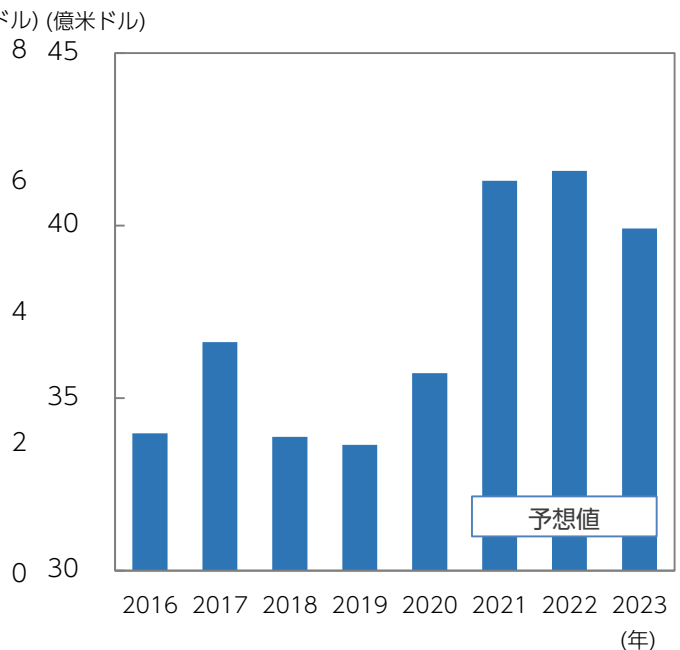


区分はダーリン・イングレディエンツによる

株価とEPS(1株当たり純利益)の予想



売上高の推移



株価、世界株式は2016年3月31日～2021年4月30日(日次)、2016年3月31日を100として指数化。
EPSの予想値は2021年5月現在のブルームバーグ集計値。
世界株式：MSCI ACワールド・インデックス(現地通貨ベース)

出所)DWSグループのデータ等をもとにニッセイアセットマネジメント作成。

上記は当ファンドが主に投資対象とする「DWS・インベスト・ESG・クライメート・テックFC(円建て)クラス」の組入銘柄を示したものです。特定の銘柄を推奨するものではなく、また当該銘柄の保有を保証するものではありません。

投資対象ファンドの組入銘柄のご紹介②

照明ソリューションを提供するオランダの企業

シグニファイ(オランダ)

企業概要

- フィリップスグループのフィリップスライティング社が2018年に現在の社名へと変更。エネルギー管理、照明設計およびエンジニアリングなどの照明管理および付加価値サービス、遠隔監視および管理サービスに従事。

同社の強みやテクノロジー

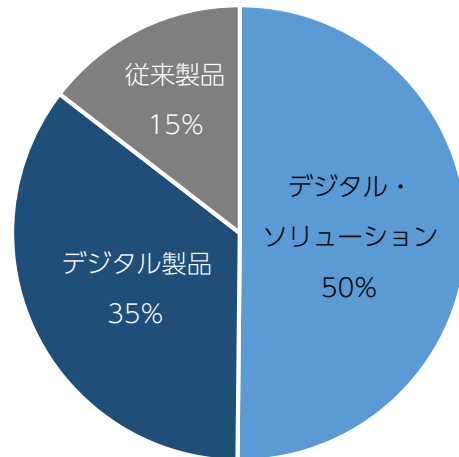
➤ コネクテッド照明

LED照明とITを組み合わせることにより、照明設備に組み込まれたセンサーなどからデータを収集、運用状況の改善とコストの削減が可能に。

➤ 農業用LED照明(効率的な農業の実現)

曇りや雪などによる日照不足の課題を改善するため開発された植物育成用LED照明により、収穫量が改善。

セグメント毎の売上高比率(2020年12月期)



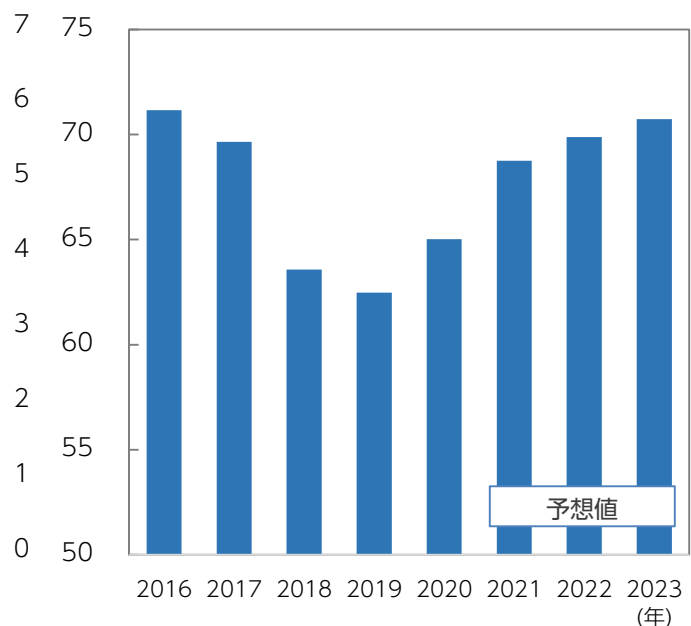
区分はシグニファイによる

株価とEPS(1株当たり純利益)の予想

売上高の推移



(ユーロ) (億ユーロ)



株価、世界株式は2016年5月26日～2021年4月30日(日次)、2016年5月26日を100として指数化。
EPSの予想値は2021年5月現在のブルームバーグ集計値。
世界株式：MSCI ACワールド・インデックス(現地通貨ベース)

出所)DWSグループのデータ等をもとにニッセイアセットマネジメント作成。

上記は当ファンドが主に投資対象とする「DWS・インベスト・ESG・クライメート・テックFC(円建て)クラス」の組入銘柄を示したものです。特定の銘柄を推奨するものではなく、また当該銘柄の保有を保証するものではありません。

投資対象ファンドの組入銘柄のご紹介③

エネルギー関連のソリューションをグローバルに提供する会社

シュナイダー・エレクトリック(フランス)

企業概要

➤ オフィスビルや工場などの電力の需要側に向けたエネルギー管理のためのソリューションを提供する「受配電・ビルディング」・「エネルギー」。IT運用のシステムインフラを構築する「IT」。工場の自動化などで生産効率を高める製品・サービスをトータルに提供する「インダストリー」の4つの領域をメインにビジネス展開。

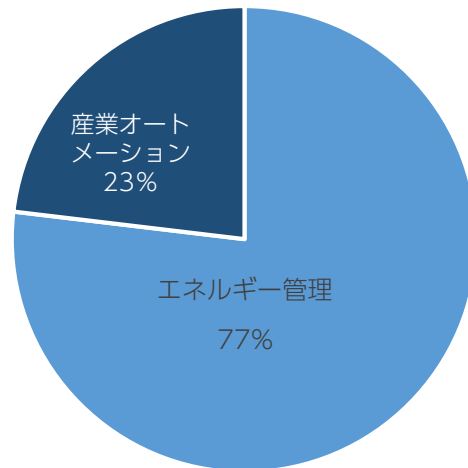
同社の強みやテクノロジー

➤ マイクログリッド*向けソリューション

ネットワーク経由でリアルタイムに施設の消費電力量や太陽光・風力など電源ごとの発電量を把握。どこで発電した電気を使うかなどエネルギー利用を最適化できるよう制御。

*太陽光や風力発電、燃料電池などの複数の発電・電力貯蔵システムを組み合わせるシステムで、電力会社の電力系統から切り離して独立運用することが可能。

セグメント毎の売上高比率(2020年12月期)

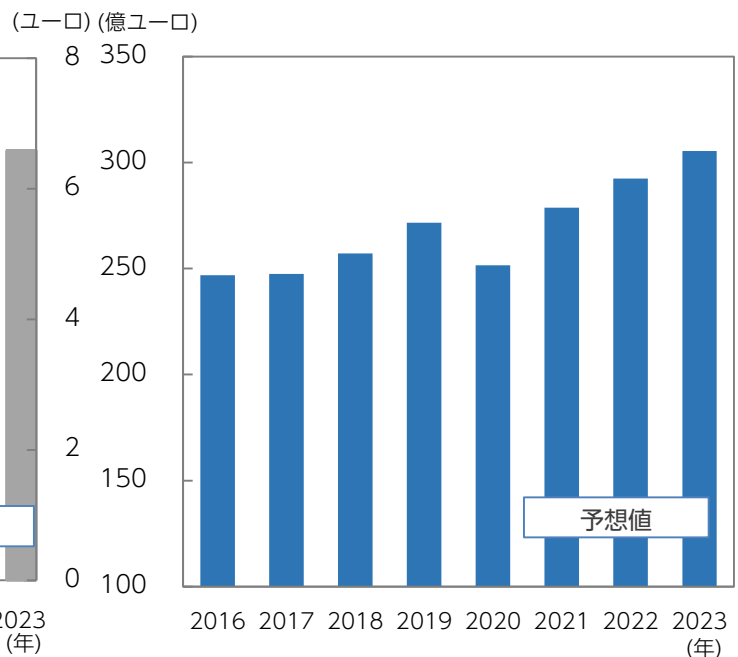


区分はシュナイダー・エレクトリックによる

株価とEPS(1株当り純利益)の予想



売上高の推移



株価、世界株式は2016年3月31日～2021年4月30日(日次)、2016年3月31日を100として指数化。
EPSの予想値は2021年5月現在のブルームバーグ集計値。
世界株式：MSCI ACワールド・インデックス(現地通貨ベース)

出所)DWSグループのデータ等をもとにニッセイアセットマネジメント作成。
上記は当ファンドが主に投資対象とする「DWS・インベスト・ESG・クライメート・テックFC(円建て)クラス」の組入銘柄を示したものです。特定の銘柄を推奨するものではなく、また当該銘柄の保有を保証するものではありません。

投資対象ファンドの組入銘柄のご紹介④

世界をリードする動物用医薬品会社 ゾエティス(米国)

企業概要

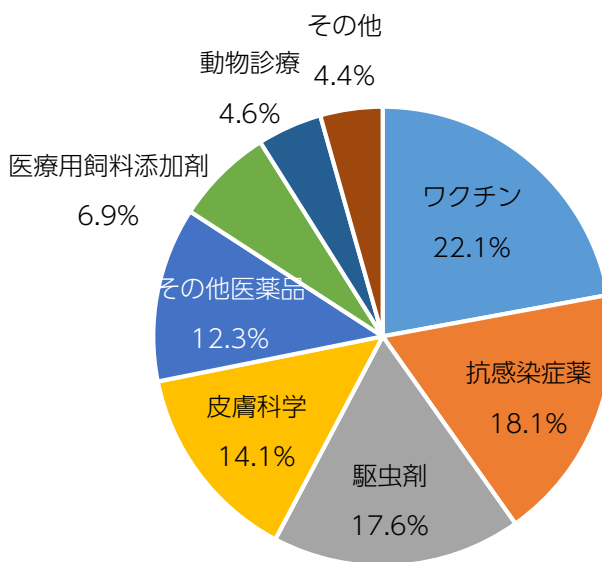
- ▶ 2013年米製薬最大手ファイザーのアニマルヘルス部門から独立し上場。家畜やペットを対象とした動物用医薬品などの製品・サービスを提供。
- ▶ 同社のワクチンや医薬品、改良された生産方法、先進的な技術などは家畜の病気を予防し、肉・乳・卵などの収穫の効率を上げる。

同社の強みやテクノロジー

▶ スマート家畜モニタリング

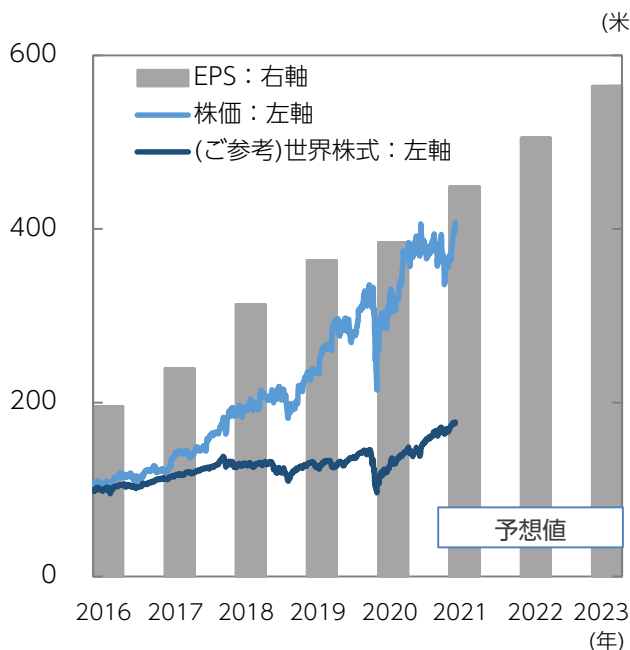
牛の耳にスマートタグを取り付けて健康状態などを24時間モニタリングすることで、病気の早期発見が可能に。同社はこれらを始めとする牛用のアニマルヘルス製品の市場において、全世界で1位のシェアを誇る。

セグメント毎の売上高比率(2020年12月期)

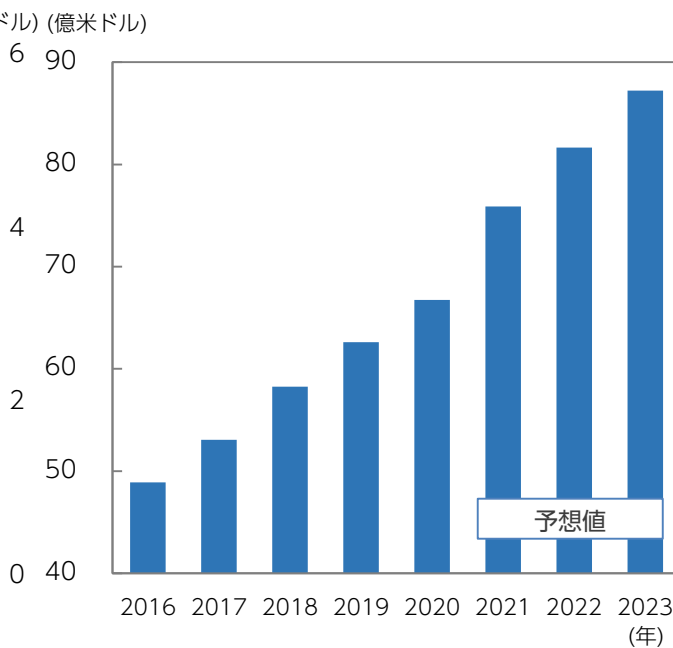


区分はゾエティスによる

株価とEPS(1株当たり純利益)の予想



売上高の推移



株価、世界株式は2016年3月31日～2021年4月30日(日次)、2016年3月31日を100として指数化。
EPSの予想値は2021年5月現在のブルームバーグ集計値。
世界株式：MSCI ACワールド・インデックス(現地通貨ベース)

出所)DWSグループのデータ等をもとにニッセイアセットマネジメント作成。
上記は当ファンドが主に投資対象とする「DWS・インベスト・ESG・クライメート・テックFC (円建て) クラス」の組入銘柄を示したものです。特定の銘柄を推奨するものではなく、また当該銘柄の保有を保証するものではありません。

気候変動対策に寄与する新たなテクノロジーに着目する 「フォー・ザ・フューチャー」3つのポイント

① 当ファンド「**フォー・ザ・フューチャー**」は、温室効果ガスの排出抑制や気候変動の悪影響の軽減などを手がける世界の企業の株式に投資します。

類似ファンドの設定来のパフォーマンスをみると、コロナショック時に類似ファンドの価格は下落しましたが、米国のバイデン政権による環境政策や世界的な気候変動への関心の高まりなどを背景に世界株式を大幅に上回って推移していることがわかります。

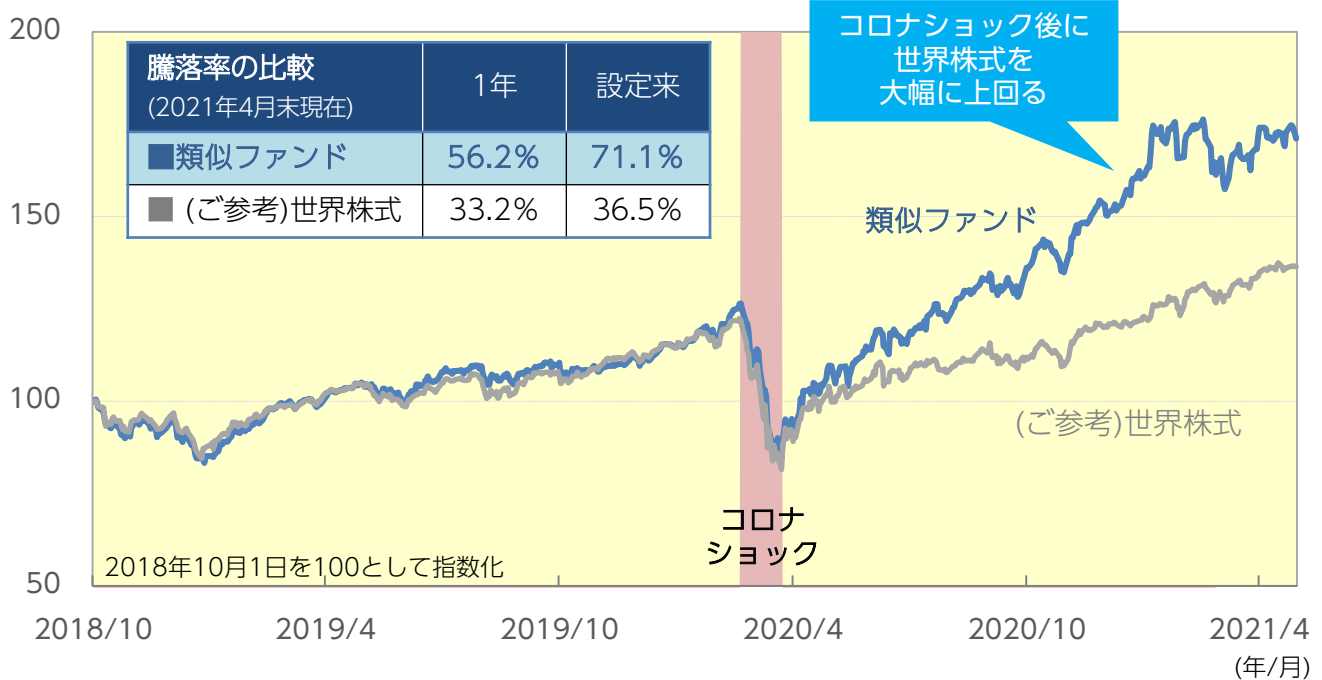
② **気候変動・地球温暖化**は、その予想される影響の大きさから、いまや人類にとって最も深刻な問題のひとつになっています。たしかに気候変動は大きなリスクですが、一方で企業の**成長機会**でもあります。

気候変動の抑制やその悪影響の軽減など、わたしたちの**“未来”**をよりよいものにする事業を展開する企業にとっては、大きなビジネスチャンスとなるでしょう。

③ 世界的に気候変動への対策が加速するなか、気候変動に関連するビジネスの市場規模は年々拡大しており、今後さらなる拡大が見込まれています。

気候変動関連ビジネスが拡大するなか、**優れたテクノロジーを有する企業は恩恵をうける**ことが期待されます。

類似ファンドの設定来のパフォーマンス(ユーロベース)



出所) DWSグループのデータ等をもとにニッセイアセットマネジメント作成
 データ期間：2018年10月1日<設定日>～2021年4月30日(日次)世界株式：MSCI ACワールド・インデックス(配当込み)
 上記の運用実績は類似ファンドのパフォーマンス(運用報酬控除後)を示したものです。類似ファンドの詳細については以下をご参照ください。

上記は、当ファンドの主要投資対象である「DWS・インベスト・ESG・クライメート・テックFC(円建て)クラス」と同様の運用方針でDWSインベストメント GmbHが運用を行う代表口座の運用状況を示したものです。当ファンドや当ファンドの主要投資対象の運用状況ではありませんので、あくまでご参考としてお考えください。

ファンドの特色

- ①日本を含む世界の株式のなかから、気候変動に関連する事業を展開する企業の株式に投資します。
- ②銘柄選定にあたっては、優れた技術・ビジネスモデルを有し、持続的な成長が期待される企業を選別します。
- ③決算頻度および分配方針の異なる2つのファンドから選択いただけます。

<資産成長型>年1回決算を行います。信託財産の十分な成長に資することに配慮し、分配を抑制する方針です。

- 毎年4月25日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行います。

<予想分配金提示型>毎月決算を行い、決算日の前営業日の基準価額に応じた分配をめざします。

- 毎月25日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行います。
- 収益分配方針に基づき、決算日の前営業日の基準価額(1万口当り。支払い済みの分配金累計額は加算しません)に応じて、以下の金額の分配を行うことをめざします。

決算日の前営業日の基準価額	分配金額(1万口当り、税引前)
11,000円未満	基準価額の水準等を勘案して決定
11,000円以上12,000円未満	200円
12,000円以上13,000円未満	300円
13,000円以上14,000円未満	400円
14,000円以上	500円

- ・ 決算日の前営業日から決算日までに基準価額が急激に変動した場合等には、上記とは異なる分配金額となる場合や分配金が支払われない場合があります。
- ・ 基準価額の値上がりにより、該当する分配金テーブルが分配金の支払い準備のために用意していた資金を超える場合等には、テーブル通りの分配ができないことがあります。
- ・ 基準価額に応じて、毎月の分配金額は変動します。基準価額があらかじめ決められた水準に一度でも到達すれば、その水準に応じた分配を継続するというものではありません。
- ・ 分配を行うことにより基準価額は下落します。そのため、基準価額に影響を与え、次期決算以降の分配金額は変動する場合があります。また、あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。
- ・ 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により、分配を行わないことがあります。

! 将来の分配金の支払いおよびその金額について、保証するものではありません。

- ・ 販売会社によっては、どちらか一方のファンドのみの取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。

投資リスク

※ご購入に際しては、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

基準価額の変動要因

- ファンド(指定投資信託証券を含みます)は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本を割込むことがあります。
- ファンドは、預貯金とは異なり、投資元本および利回りの保証はありません。運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のものとなりますので、ファンドのリスクを十分にご認識ください。

主な変動要因

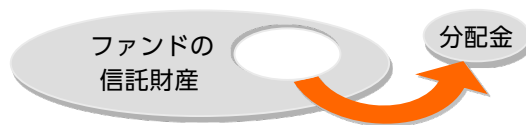
株式投資リスク	株式は国内および国際的な景気、経済、社会情勢の変化等の影響を受け、また業績悪化(倒産に至る場合も含む)等により、価格が下落することがあります。
為替変動リスク	原則として対円での為替ヘッジを行わないため、外貨建資産については、為替変動の影響を直接的に受けます。一般に円高局面ではファンドの資産価値が減少します。
カントリーリスク	外国の資産に投資するため、各国の政治・経済情勢、外国為替規制、資本規制等による影響を受け、ファンドの資産価値が減少する可能性があります。特に、新興国の経済状況は先進国経済と比較して一般的に脆弱である可能性があり、ファンドの資産価値が大きく減少したり、運用方針にそった運用が困難になる可能性があります。
流動性リスク	市場規模が小さいまたは取引量が少ない場合、市場実勢から予期される時期または価格で取引が行えず、損失を被る可能性があります。

- ・ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの信託財産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

ファンドで分配金が支払われるイメージ

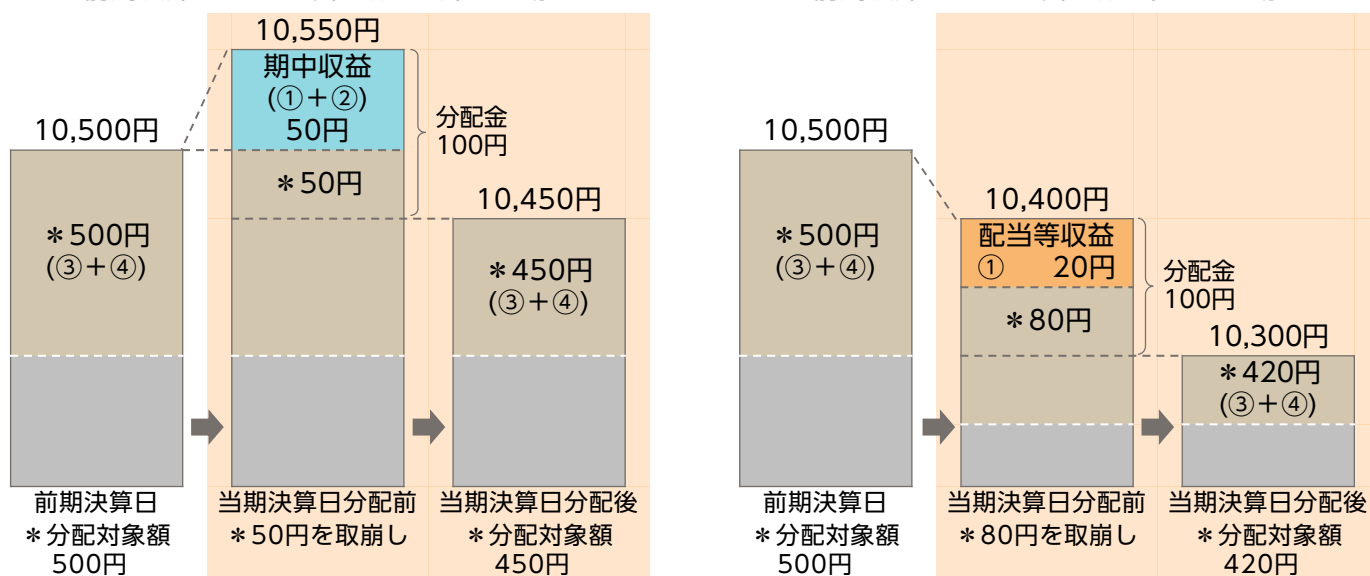


- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合

前期決算日から基準価額が下落した場合



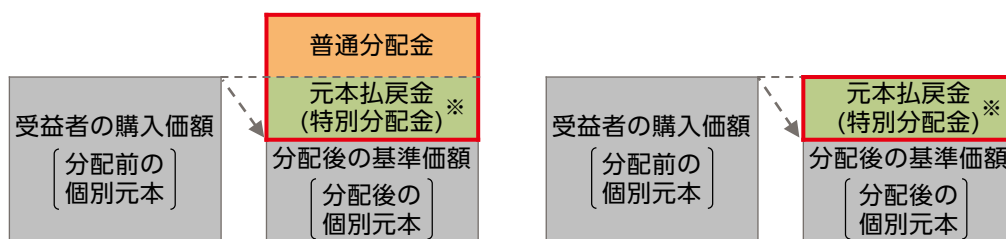
- 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、収益分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
 分配準備積立金：期中収益(①および②)のうち、当期の分配金として支払われず信託財産に留保された金額をいい、次期以降の分配金の支払いにあてることができます。
 収益調整金：追加型株式投資信託において追加設定が行われることによって、既存の受益者の分配対象額が減らないようにするために設けられた勘定です。

❗ 上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

- 受益者のファンドの購入価額によっては、支払われる分配金の一部または全部が実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※実質的に元本の一部払戻しに相当する元本払戻金(特別分配金)が支払われると、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

普通分配金：個別元本(受益者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
 元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

- 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時	購入時手数料 (1万口当り)	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に 3.3%(税抜3.0%) を上限として販売会社が独自に定める率をかけた額とします。 ※ 料率は変更となる場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。
換金時	信託財産留保額	ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

毎日	運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年率1.1825%(税抜1.075%)をかけた額とし、ファンドからご負担いただきます。	
		投資対象とする 外国投資信託証券	年率0.75%程度 ・年間最低報酬額等がかかる場合、純資産総額等によっては年率換算で上記の料率を上回ることがあります。
	実質的な負担	ファンドの純資産総額に 年率1.9325%(税込)程度 をかけた額となります。 ・上記は目安であり、各指定投資信託証券への投資比率が変動することにより、投資者が負担する実質的な運用管理費用(信託報酬)は変動します。また、投資対象とする外国投資信託証券に年間最低報酬額等がかかる場合、その純資産総額等によっては年率換算で上記の料率を上回ることがあります。	
	監査費用	ファンドの純資産総額に年率0.011%(税抜0.01%)をかけた額を上限とし、ファンドからご負担いただきます。	
随時	その他の費用・ 手数料	組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用および借入金の利息等はファンドからご負担いただきます。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を記載することはできません。	

❗ 当該費用の合計額、その上限額および計算方法は、運用状況および受益者の保有期間等により異なるため、事前に記載することはできません。

❗ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ご留意いただきたい事項

- 投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動し、運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のもとなります。投資元本および利回りが保証された商品ではありません。
- 当資料はニッセイアセットマネジメントが作成したものです。ご購入に際しては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等(目論見書補完書面を含む)の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は保険契約や金融機関の預金ではなく、保険契約者保護機構、預金保険の対象とはなりません。証券会社以外の金融機関で購入された投資信託は、投資者保護基金の支払対象にはなりません。
- 当資料のいかなる内容も将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。また、資金動向、市況動向等によっては方針通りの運用ができない場合があります。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- MSCI各種指数は、MSCI Inc. が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

取扱販売会社一覧

※ 販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によっては、新規のお申込みを停止している場合もあります。詳しくは、販売会社または委託会社の照会先までお問合せください。

取扱販売会社名	金融商品 取引業者	登録金融 機関	登録番号	日本証券業 協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業 協会
		○					○
株式会社関西みらい銀行		○	近畿財務局長(登金)第7号	○		○	

●販売会社によっては、どちらか一方のファンドのみの取扱いとなる場合があります。詳しくは、販売会社または委託会社の照会先までお問合せください。

委託会社【ファンドの運用の指図を行います】	ファンドに関するお問合せ先
ニッセイアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第369号 加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会	ニッセイアセットマネジメント株式会社 コールセンター：0120-762-506 (9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く) ホームページ： https://www.nam.co.jp/
受託会社【ファンドの財産の保管および管理を行います】	
株式会社りそな銀行	